

旅行報告書

会派名 公明党

会派代表者 牧下 恭之

平成 26年5月19日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 牧下 恭之 | |
| | |
| | |
| | |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

1 期間 平成26年5月15日(木曜日)から

平成26年5月17日(土曜日)まで

2 旅行先及び用務の概要

| 旅行先 | 用務の概要 |
|---------|---|
| 大阪市 | 大阪府庁 ・視線でわかる発達障がいの診断補助装置について ・改訂された1歳半健診と3歳児問診票について |
| 大阪府寝屋川市 | 寝屋川市図書館 ・ビブリオバトルについて |
| 奈良県橿原市 | 橿原市近鉄百貨店 ・百貨店内の奈良県健康ステーション体験 |

発達障がいの早期発見へ

2014年(平成26年)5月15日
大阪府庁 13:30~15:00



大阪府は現在、発達障がいの早期発見につながる試みとして、子どもの視線がどういう対象に向かうかを測定する診断補助装置の実証実験を、府内の医療機関で実施している。さらに、乳幼児健診における問診票の改訂にも取り組んでいる。



視線で分かる装置

診断補助装置は、府立精神医療センターと府立母子保健総合医療センターの2ヶ所に設置されている。精神医療センターでは専門外来に通院する子どもの患者に対し、保護者の同意を得た上で、装置を使った実証実験を試験的にしている。

子どもがパソコン画面の前に座ると、映像がスタート。

実物の人間が笑ったり動いたり話をする映像の半面で、幾何学模様が動く映像も流れ、子どもがどちらの映像にどれくらいの割合で視線を送っているかが表示される。

測定されたデータによって「人の顔や動きよりも幾何学的な模様などに興味を持つ」など、発達障害や自閉症の子どもが持つ特徴を捉えることができる。

発達障害の有無は、知的能力が高い場合は、
検診で早期発見は難しい

人間の視線に注目したこの検査方法だと、
知的脳力の高い子どもでも、早期発見に
結びつく。

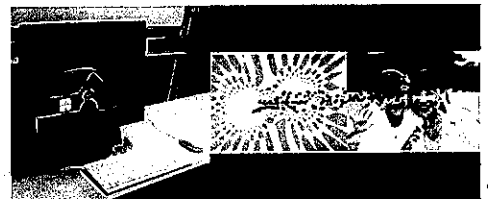
府立精神医療センターの臨床担当者
「親は、子どもが『発達障がい』と診断されても、
すぐには納得しない。
そこに、客観的なデータの裏付けがあれば、
医療の信頼にもつながる」と語っていた。



ゲイズファインダーについて

- ゲイズファインダーの概要
 - 注視点検出による発達障がいの診断補助装置。
 - ステレオカメラとモニター及び専用の映像コンテンツによって構成。
 - 被験者が映像を視聴する際の注視点を検出することで発達障がいの可能性を捉える。「人物ではなく幾何学模様に興味を持つ」といった自閉症の子どもの特徴を捉えて診断を支援。
 - 現在、大阪大学大学院・大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所において実証研究中。
 - 乳幼児期からの発達特性を客観的な指標を用いて捉えることができ、障がいの早期発見が可能となるのではないかと期待されている。

(JVCケンウッドHPより抜粋)



- 結果は、以下のような内容がプリントアウトされる。
- 検査時間のうち、目を見ていた割合と口元を見ていた割合
- 検査時間のうち、顔を見ていた割合と幾何学模様を見ていた割合

検診用の問診票も改訂

1歳半検診と3歳児健診時に行っている問診票に、発達障がいの早期発見のための問診項目を新たに追加。

1歳半健診の問診票

「何かに興味を持った時、指をさして伝えようとしていますか」
「ちょうだいと言うと、持っているものを手渡そうとしていますか」

など、社会性やコミュニケーションの意欲、日常の行動を尋ねる質問項目が並んでいる。

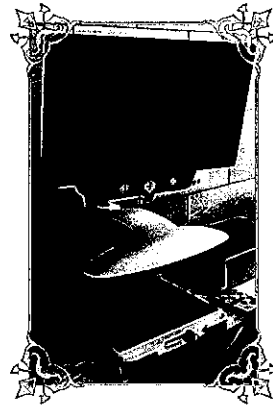
ビブリオバトル (知的書評合戦)

2014年(平成26年)5月16日
10:00~11:30
大阪・寝屋川市図書館

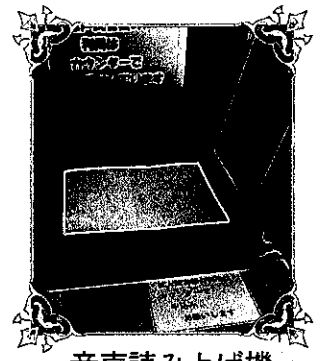
「活字を読まないことによって、自分の周囲のことしか関心を持ってなくなってしまう。本を読むことは他者とのコミュニケーションの始まりなのだ。今の若者は、ツイッターやブログなどの表現活動に参加するのはいいが、仲間内のコミュニケーションに終始するあまり、その閉鎖的な情報だけで満足して、それ以上の知識を求めようとしない」

人数は5人ぐらい

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2分から3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とし、チャンピオンを決めるゲーム



拡大機



音声読み上げ機

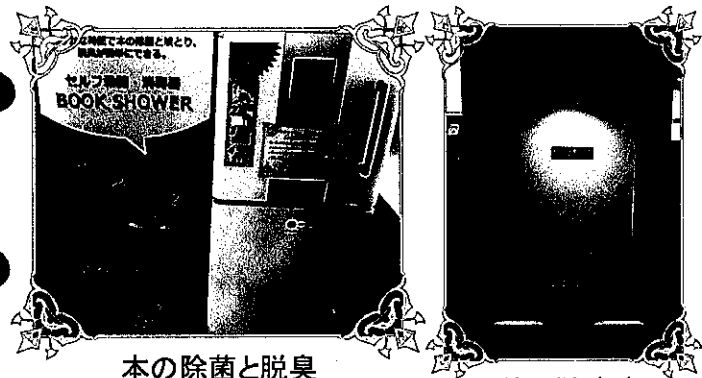
読書がスポーツに変わる

本を読むのが楽しくなる

いろんな本に巡り会える

どんどん世界が広がる

本を用いて人と人をつなげ、しかもいい本に出会える。またプレゼン能力も付きます。



本の除菌と脱臭

幼児読書室



百貨店に健康拠点常設

2014年(平成26年)5月16日
13:30~14:30
奈良県・近鉄百貨店6階

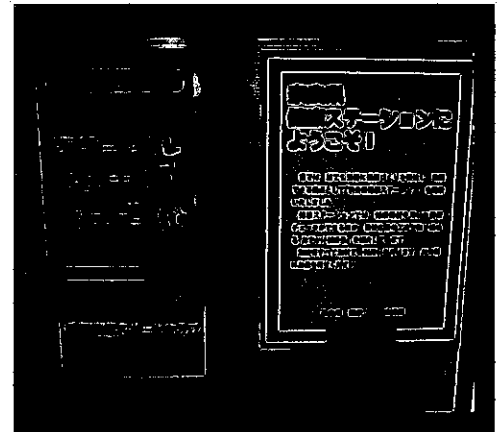
奈良県は日本一の健康長寿県を目指し、平成22年7月5日に知事を本部長として全ての部局長を構成員とする健康長寿文化づくり推進本部を立ち上げた。

そして、平成25年7月には、なら健康長寿基本計画を策定し、今後10年間で、男女とも県民の健康寿命を日本一にすることを目指している。

平成26年1月29日近鉄大和八木駅前にある近鉄百貨店内に、県民の健康づくりの活動拠点となる「奈良県健康ステーション」を開設。

県長などの公共施設ではなく、乗降客の多いターミナル駅前の百貨店と連携し、拠点を常設した方式が特徴である。

健康サポーター(健康スポーツ関連の地元NPO法人の指導者)常駐しアドバイスをを行う。



健康チェックコーナーには、最新の混淆測定器が並ぶ!

- 血管年齢計 人差し指を挟むだけで血管の状態が分かる
- 体組成計 体重・体脂肪率・筋肉量・内臓脂肪レベルなどの数値が瞬時にプリントアウトされる

活動量計貸出コーナー

○毎日の歩数や、うっすら汗ばむ程度の運動時間が自動的に記録される「活動量計」を2週間貸し出し、2週間後、体験者にもう一度来てもらい、記録結果を見ながら、各個人に合った運動を勧める「おでかけ健康法」を紹介している。



県健康福祉部健康づくり推進課 大森大主査
「県民の健康寿命アップに力を入れていきたい。
2016年3月末までに、活動量計の長期貸し出し
体験のモニター数を1000人にしたい」と意気込む。

今年の1月に開設して、毎日100人の方が訪れる。
結果に安心して帰られる人、体脂肪率にアドバイスを
受けられて帰る人等、さまざまの結果がすぐ分かる事に
県民の健康寿命を日本一を目指す意欲が感じられました。
煙草を吸う人は血管年齢が上がるとのことであつたが、
私は6歳も若い結果が出た。最高である。

健康寿命延長への取り組みは、市町村にとっても、医療費及び介護費の抑制、ひいては国民健康保険料、介護保険料の低減等が期待できる